

An aerial photograph of a town, likely in Japan, showing a mix of residential buildings, commercial structures, and green spaces. In the background, there are rolling hills and mountains under a clear sky. The text is overlaid on the image.

# 長与町あたらしい学校づくり検討委員会

# 1

期日：令和6年5月16日（木）

場所：長与町立高田小学校

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a mix of residential buildings, commercial structures, and green spaces. The city is surrounded by rolling hills and mountains in the background. The image is overlaid with a semi-transparent white filter. The text "本委員会の趣旨・目的" is centered in the middle of the image.

# 本委員会の趣旨・目的

子供たちが生きるこれからの社会

# VUCA時代

**V** (Volatility : 変動性)

**U** (Uncertainty : 不確実性)

**C** (Complexity : 複雑性)

**A** (Ambiguity : 曖昧性)

先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代

## 予測困難な社会を生きる子供たちに育むべき資質能力

一人一人の児童生徒が、**自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら**様々な社会的変化を乗り越え、**豊かな人生を切り拓き持続可能な社会の創り手となることができるようにする。**

自己肯定感

自己有用感

自己効力感

他者理解

他者尊重

主体性

協働性

利他性

創造力

論理的思考力

問題発見・問題解決力

表現力

リーダーシップ

など

生きて働く「知識・技能」

未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

## 本町の学校教育の課題

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（不断の授業改善）
- 不登校児童生徒の対応
- 特別な教育的配慮を要する児童生徒の対応

## 本委員会の目的

「令和の日本型学校教育」の実現、本町における学校教育の質の更なる向上を目指し、義務教育学校制度の導入をはじめ、町立学校において実現可能な教育課程や教育活動の工夫改善に関する内容について、有識者・学校関係者・保護者・地域関係者等、様々な立場の方々による多面的・多角的な検討を行い、町教育委員会への答申をまとめることを目的とします。

## 検討議題（案）

- 9年間を見通した義務教育の在り方（義務教育学校制度の導入、教育課程の工夫改善）
  - ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（ICTの最大限活用）
  - ・ 小学校高学年における教科担任制の導入
  - ・ 小学校低学年からの系統的な英語学習
  - ・ カリキュラム・マネジメントの充実 など
- 不登校児童生徒の対応、特別な支援を要する児童生徒の対応
- 学級経営、生徒指導の充実（いじめ・不登校の未然防止等、安心安全な環境整備）
- 学校における働き方改革の更なる推進、教職員の資質・能力の向上
- 学校と地域の連携・協働（学校運営協議会等の充実） など

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a mix of residential buildings, commercial structures, and green spaces. In the background, there are rolling hills and mountains under a clear sky. The text is overlaid in the center of the image.

# 令和の日本型学校教育とは

## 日本型学校教育とは

子供たちの知・徳・体を一体で育む教育

- 学習機会と学力の保障
- 全人的な発達・成長の保障
- 身体的・精神的な健康の保障



## 新しい動き

- 学習指導要領の着実な実施
- GIGAスクール構想の推進
- 学校における働き方改革の推進
- 第4期教育振興計画の推進（国・県）

「日本型学校教育」の良さを受け継ぎ、更に発展させる新しい時代の学校教育の実現

## 令和の日本型学校教育

- 全ての児童生徒の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ICTの最大限活用
- 義務教育9年間を見通した小学校高学年からの教科担任制、小中学校の連携促進
- 誰一人取り残さない、安心安全な居場所づくり など

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a dense urban area with numerous buildings, roads, and green spaces. In the background, there are rolling hills and mountains under a clear sky. The text "義務教育学校とは" is overlaid in the center of the image.

# 義務教育学校とは

小学校

修業年限 6 年

中学校

修業年限 3 年

義務教育学校

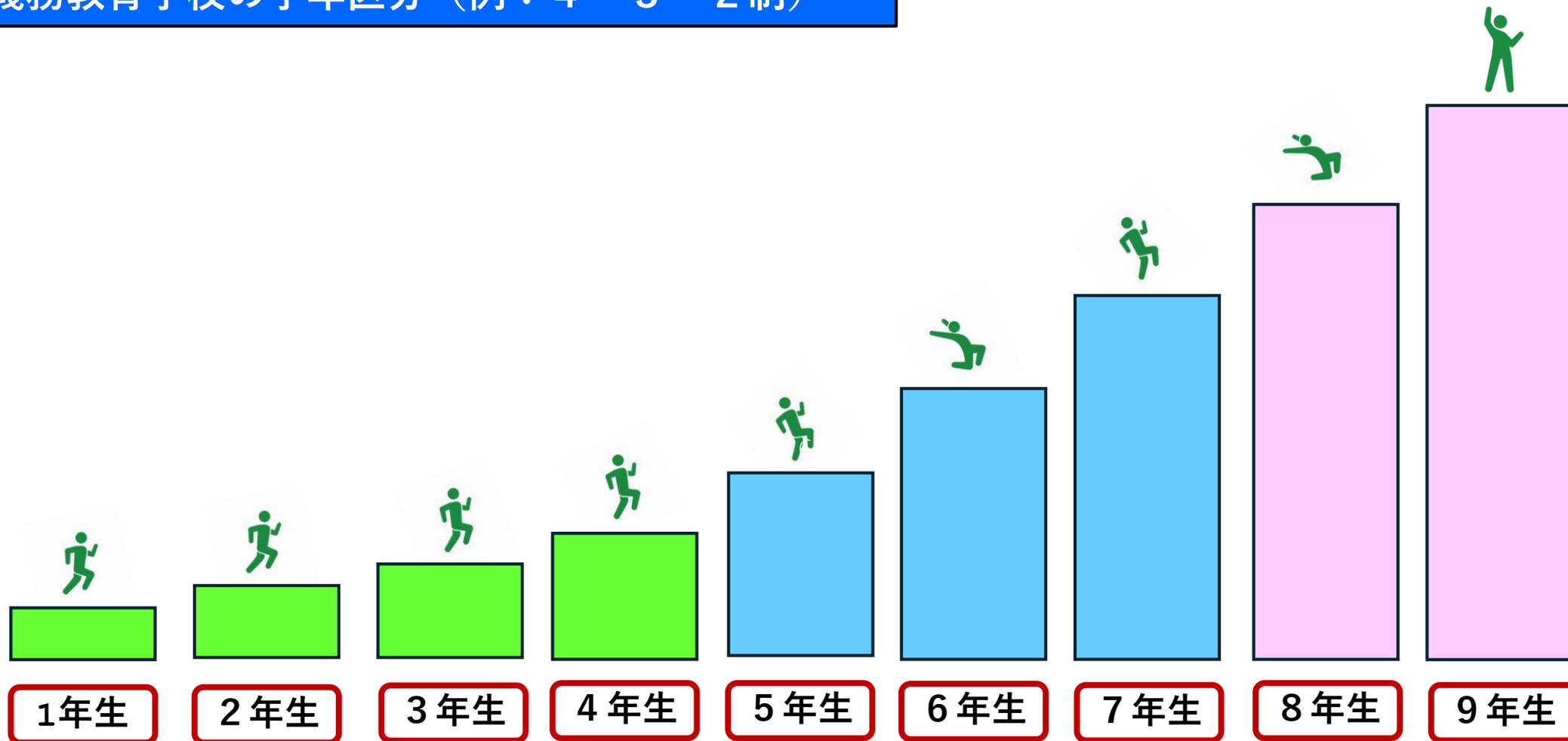
修業年限 9 年

- 一人の校長の下、一つの教職員組織
- 義務教育 9 年間の学校教育目標を設定
- 9 年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施
- 心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことが目的

## 小・中学校の学年区分（6－3制）



## 義務教育学校の学年区分（例：4－3－2制）



義務教育学校

## 義務教育学校の教育課程（例：4－3－2制）

課 程	前期課程 (小学校学習指導要領準用)						後期課程 (中学校学習指導要領準用)			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	
学 年										
区 分	前期 1st STAGE				中期 2nd STAGE		後期 3rd STAGE			
指導形態	【道徳科】			【学級活動】		【総合的な学習の時間】		【※小中一貫教科】		
	学級担任制				一部教科担任制 (小学校教員)		一部教科担任制 (中学校教員)		教科担任制	
備 考	すべての学年、すべての教科等で、主体的・対話的で深い学びの実現を図る (個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実)									

# 義務教育学校の**メリット**

---

- ① 「中1ギャップ」の緩和・解消
- ② 9年間の系統性・連続性を意識した学習による教育効果
- ③ 小・中学校教員の融合による質の高い教育
- ④ 異学年交流による精神的な発達や社会性の育成
- ⑤ 継続的な児童生徒に対するきめ細かな指導
- ⑥ 義務教育学校の特例
- ⑦ 校務の効率化

# 義務教育学校の**デメリット**

---

- ① 人間関係の固定化
- ② 小学校卒業の達成感の喪失
- ③ 中学校の新鮮さの喪失
- ④ リーダーシップや自主性を養う機会の減少
- ⑤ 発達段階の差への配慮
- ⑥ 学年数・学級数の増加による懸念事項
- ⑦ 中学生相当の生徒の悪影響の恐れ
- ⑧ 校長の負担過重

## 義務教育学校の必要性

義務教育学校でなくても教育課程の工夫改善はできる。

ただし、

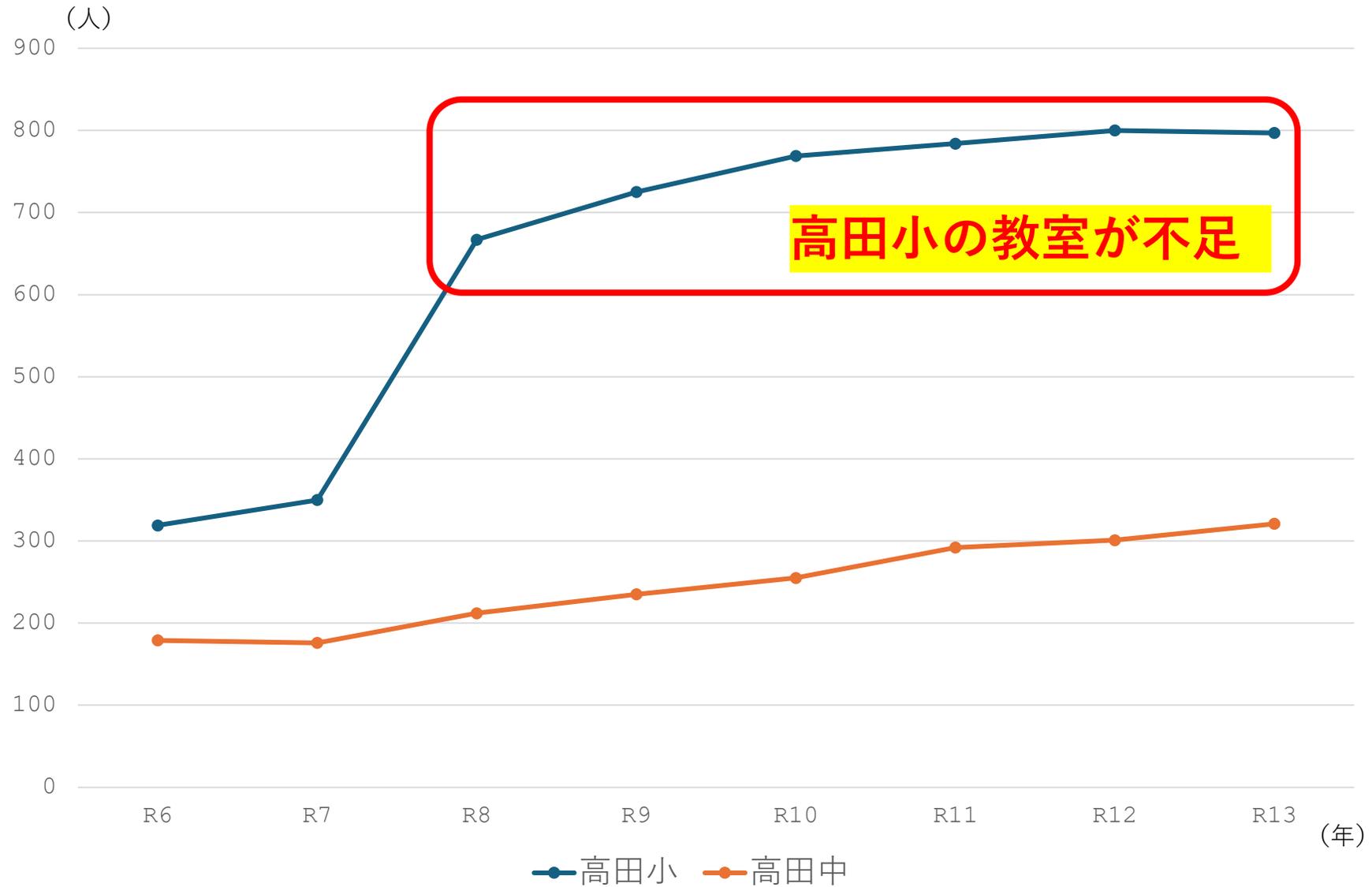
義務教育学校の方が教育課程の工夫改善がしやすい面がある。

また、

義務教育学校でしかできないことがある。

義務教育学校だからこそできることがある。

# 高田地区の児童生徒数推計



# 高田校区に長与町初の義務教育学校を

- ① 義務教育学校の必要性
- ② 高田地区の地域力（確かな土壌）
- ③ 高田地区の児童生徒数の増加への対応
- ④ 高田地区のコミュニティづくりの新たな核
- ⑤ 「伝統」と「革新」
- ⑥ 長与町のアピール（⇒人口減少抑制）

